

関係機関の長 各位

弘前大学教育研究院医学系長 廣田和美
(公印省略)

医学系臨床医学領域(大学院医学研究科 脳神経外科学講座) 教授候補者の推薦について(依頼)

謹啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、弘前大学教育研究院医学系臨床医学領域では、脳神経外科学講座教授候補者を下記により公募することになりました。

つきましては、御多用中のところ誠に恐縮に存じますが、貴機関または関係方面へ周知いただき、適任者がおりましたら御推薦を賜りますようお願い申し上げます。

おって、参考までに「弘前大学大学院医学研究科脳神経外科学講座教育・研究組織に関する提言」(大学院医学研究科教授会承認)を添付しておりますので申し添えます。

謹言

記

1. 募集職種・人員 教授 1名
2. 任 期 10年
※ 弘前大学は教員の任期制を導入しており、大学院医学研究科専任担当の教授の任期は10年(再任可)となります。
3. 所 属 教育研究院医学系 臨床医学領域
(専任担当組織:大学院医学研究科 脳神経外科学講座)
4. 専 門 分 野 脳神経外科学
5. 担 当 科 目 大学院医学研究科: 医学研究基礎技術実習, 脳血管障害学講義・演習・実験実習, 脳腫瘍学講義・演習・実験実習, 等
医学部医学科: 脳神経外科学, 内分泌・代謝学I(内分泌), 特別教育科目(研究室研修), PBL, 総合教育演習II, 臨床実習I・II, 等
6. 採用予定時期 令和 4年 5月 1日以降
7. 待 遇 (1) 給与については、国立大学法人弘前大学職員給与規程等が適用になります。
(2) 労働条件については、弘前大学の定める規程等によります。
8. 応募資格 次の要件すべてを満たす者
(1) 医師で、脳神経外科の教育、研究及び診療に熱意を有し、かつ、当該領域において先進的医療を實踐できる者。
(2) 博士の学位を有し、大学院医学研究科(博士課程)において主指導教員として教育研究指導ができる者。
9. 応募書類 (1) 履歴書【様式1】
写真(カラー, 4cm×4cm, 3ヶ月以内に撮影したもの)を貼付してください。
(2) 研究実績目録【様式2の1の1~2の7】
以下の区分・順序により記載してください。なお、研究業績目録のうち学位論文には◎印を、主要業績(別刷提出論文)には○印を、応募者氏名にはアンダーラインを付してください。また、欧文原著, 欧文症例報告, 欧文総説については、掲載年にかかわらず、クラリベイト・アナリティクス社「Journal Citation Reports」による直近のインパクトファクター(IF)値を記入してください。
①原著
②症例報告

- ③総説
- ④その他
- ⑤著書
- ⑥学会発表(特別講演, 宿題報告, シンポジウム, パネルディスカッションなど
主要なもの, 及び国際学会)
- (3) 研究教育等実績一覧 【様式3の1~3の5】
 - ①教育実績
 - ②社会及び学会における活動実績
 - ③研究補助金等の実績
 - ④診療経歴
 - ⑤最近3年間に術者(治療手技者)及び指導助手として関与した手術症例
- (4) 教育, 研究, 診療に対する抱負 【様式4の1~4の4】
 - ①教育に対する抱負
 - ②研究に対する抱負
 - ③診療に対する抱負
 - ④講座運営・地域医療に対する抱負
- (5) 主要業績の別刷(10編以内) 各2部
別刷は, 事後に返却いたします。
- (6) 関係者の推薦書
厳封の上, 別便で推薦者から直接送付してください。
※ 応募書類(様式等)については, 大学院医学研究科ホームページ「教員公募
情報」(<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/web/teacher.html>)からダウンロードできます。

10. 応募期限 令和3年12月2日(木)17時必着(日本標準時)

11. 選考方法 (1) 書類審査
(2) 選考の過程において, 応募者周辺の方に対する調査を実施する場合があります。
また, 選考委員との面接, 模擬講義, 教育・研究に関する抱負等の発表のため弘
前大学にお越しいただく場合があります。

12. 書類提出先 〒036-8562 青森県弘前市在府町5 弘前大学大学院医学研究科内
教育研究院医学系(臨床医学領域)教授候補者選考委員会 宛
※ 封筒に「教員応募書類(脳神経外科学講座)在中」と朱書きし, 簡易書留, レ
ターパック, EMS, その他法令で認められる送付方法により, 送付記録の残る
方法で送付してください。

13. 問い合わせ先 〒036-8562 青森県弘前市在府町5
弘前大学医学研究科総務グループ(総務担当) 成田
TEL: 0172-39-5194 E-mail: jm5194@hirosaki-u.ac.jp

14. その他 (1) 弘前大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認め
られる場合には女性を優先的に採用します。面接時の交通費支援を含む支援策につい
ては, 男女共同参画推進室ホームページをご覧ください。
(ホームページのURL <http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>)
(2) 弘前大学では, 女性の方, 外国人の方の積極的な応募を歓迎いたします。
(3) 弘前大学は全学的な教員組織として「教育研究院」を設置しています。教員は教育研
究院に置かれるいずれかの学系に所属し, 教育研究組織である学部, 大学院研究科, 附属病
院などの専任担当として教育, 研究, 診療等の業務に従事することとなります。なお, 必
要に応じて他の教育研究組織の教育や業務, あるいは教員養成部門における教育を担当
していただく場合があり, 担当の授業科目が教職課程認定科目に相当する場合は, 所属
が「医学系臨床医学領域」の他に, 教員養成部門に所属することとなります。
(4) 応募書類により取得する個人情報, 本公募による教授候補者の選考及び採用時の人
事, 給与, 福祉関係等必要な手続きにのみ利用するものであり, この目的以外で利用又は
提供することはありません。

令和 3年 7月21日

脳神経外科学講座 教育・研究組織に関する提言

1. 講座のあり方と方向性

脳神経外科学講座は高度な専門的医療を行い、地域医療を推進する専門医を養成し、当該分野の発展に寄与することを目的とする。そのためには、先端的かつ国際的な研究を推進し、また、卒前・卒後教育においても積極的な関与が求められる。これらを通して、人材の育成をより一層推進していくことが必要である。

2. 診療

脳血管障害を中心に、脳腫瘍、機能外科、頭蓋底外科、頭部外傷などに関する高度かつ先進的な医療を実践する。

上記につき、他の診療科、特に高度救命救急センターとの連携は重要と考えられる。

3. 教育

卒前・卒後教育の全ての面で積極的に携わることが求められる。

4. 研究

上記の教育・診療に関連した臨床的、基礎的研究を推進していくことが求められる。

5. 社会活動

地域医療に関して積極的に貢献することが求められる。

6. その他

脳神経外科学講座の構成員として第一に求められるものは、卓越した臨床能力と、それを追求する真摯な姿勢である。特に、教授には、脳神経外科のリーダーとして、講座・診療科の機能充実を果たすことのできる人物が求められる。

脳神経外科学講座教育・研究組織提言委員会

廣田和美（委員長）、大山 力（副委員長）、今泉忠淳、
上野伸哉、富田泰史、袴田健一、花田裕之、富山誠彦